

一般社団法人 日本物流団体連合会 第21回懇談会
2022年10月20日（木）

未来へ続く、低温物流



COOL
LOGISTICS

The logo for COOL LOGISTICS features the word "COOL" in a large, blue, sans-serif font. The letter "O" is stylized as an infinity symbol. Below "COOL", the word "LOGISTICS" is written in a smaller, blue, sans-serif font.

株式会社ニチレイロジグループ本社
代表取締役社長
梅澤 一彦

1. 当社概要
2. 当社を取り巻く外部環境
3. 当社の取り組み事例
4. 物流を花形職種へ

1. 当社概要

沿革

帝国水産統制
株式会社の設立

1942



加工食品事業に進出
ニチレイフーズ関連事業

1950



バイオ分野へ進出
ニチレイバイオサイエンス
関連事業

1982



分社化によりニチレイ
ロジグループ設立

2005

選ばれつづける仕事。
ニチレイロジグループ

1945



日本冷蔵株式会社の設立
ニチレイロジグループ関連事業

1956



畜産事業を開始
ニチレイフレッシュ関連事業

1985



株式会社ニチレイへ
社名変更



1. 当社概要

現在のグループ体制

持株会社



設立	1945年12月1日
代表取締役社長	大櫛 顕也
資本金	30,472 百万円
売上高(連結)	602,696 百万円 *2022年3月期
従業員数(連結)	15,296 名 *2022年3月31日現在

ニチレイフーズ



加工食品事業

ニチレイフレッシュ



水産・畜産事業

ニチレイロジ
グループ



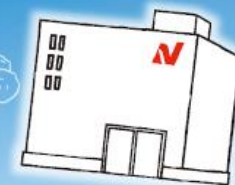
低温物流事業

ニチレイバイオ
サイエンス



バイオサイエンス事業

1. 当社概要



社名	(株)ニチレイロジグループ本社	
設立	2005年4月1日	
資本金	200 億円	
売上高(連結)	2,245 億円	*2022年3月期
海外売上高	459 億円	*2022年3月期
営業利益(連結)	146 億円	*2022年3月期
従業員数(連結)	4,609 名	*2022年3月期 ※海外子会社含む



1. 当社概要

当社概要

事業展開エリア

- ・国内では、DC※1、TC※2あわせて約120拠点を保有
- ・海外では、欧州・中国・ASEANへ進出
- ・冷凍冷蔵倉庫設備能力は国内No.1、世界No.5



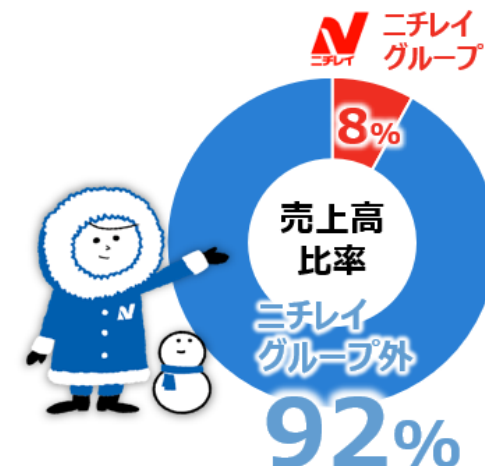
※1 Distribution Center 「在庫型物流センター」

※2 : Transfer Center 「通過型物流センター」

顧客構成

- ・外食、メーカー、商社、卸、小売など様々な顧客の物流をサポート

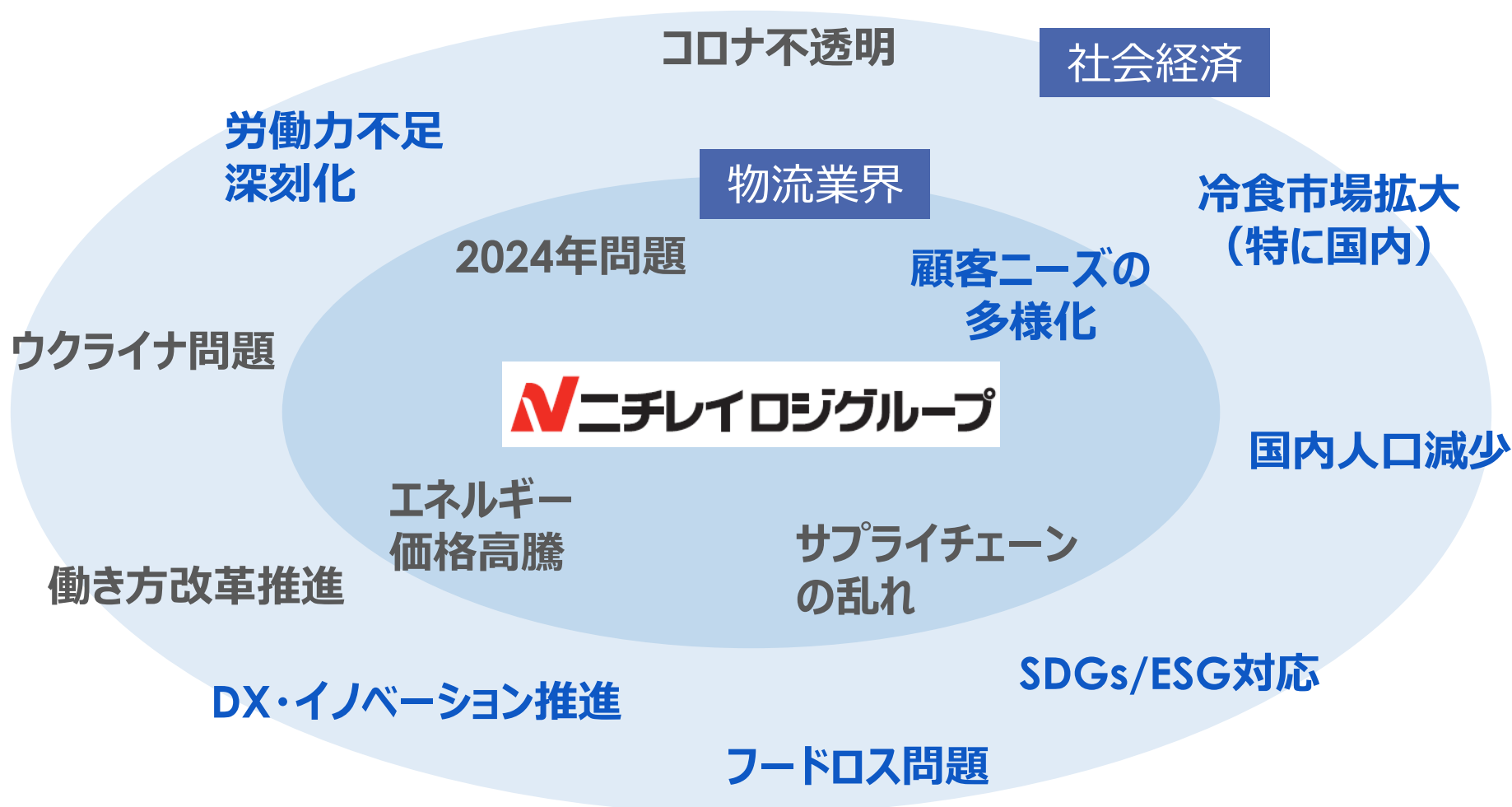
5,000社以上



2. 当社を取り巻く外部環境

当社を取り巻く外部環境

- ◆ 激変する外部環境のなか、低温物流業界も大きな節目を迎えようとしている
- ◆ 低温物流事業の持続的成長のためには、サブエンジンとなるドメインの開発が不可欠



2. 当社を取り巻く外部環境

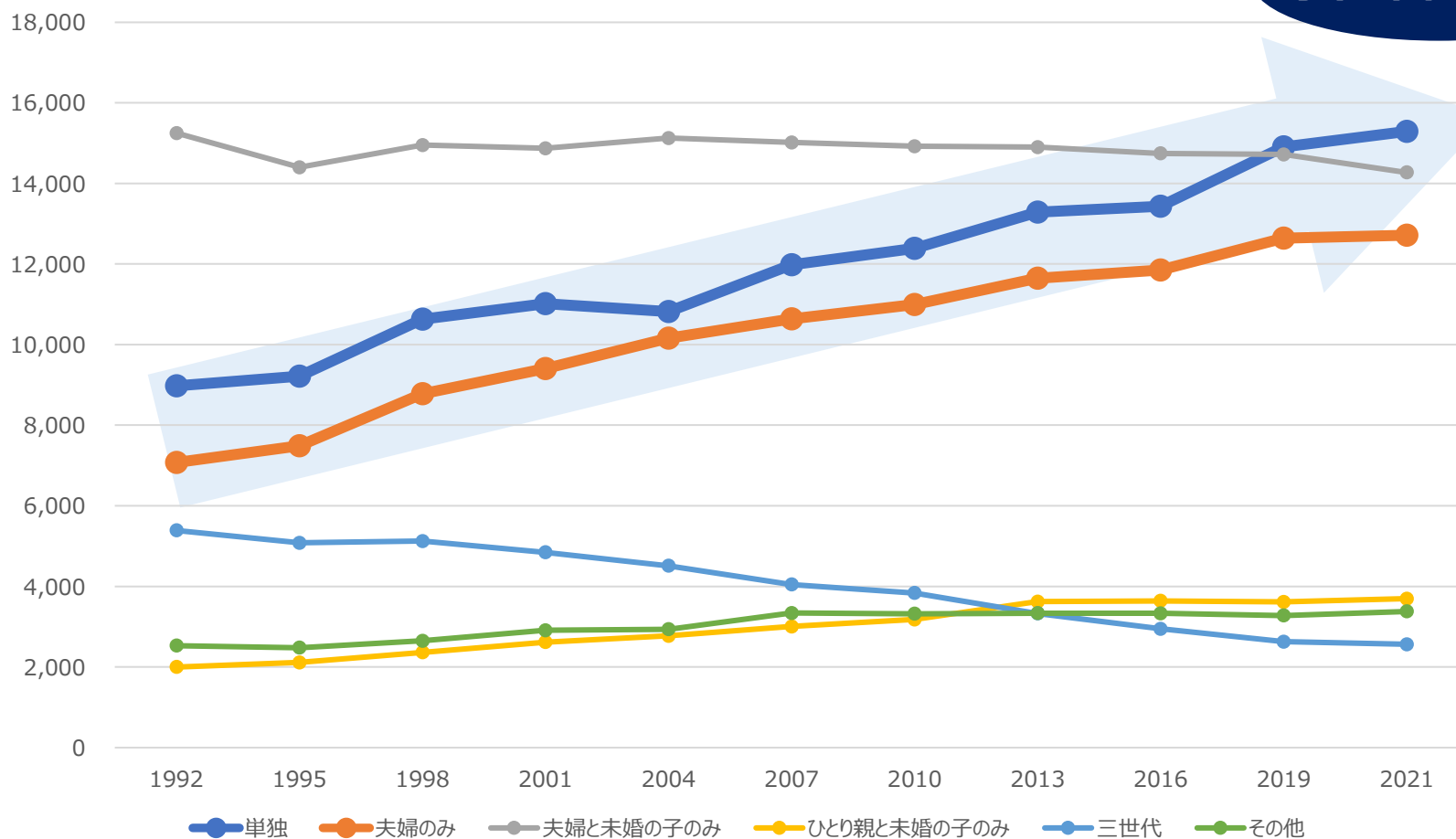
当社を取り巻く外部環境

◆ 女性の社会進出に伴い共働き世帯が増加、食の外部化が進行

単位：千世帯

過去30年間の家族類型別世帯数推移

小世帯化が加速



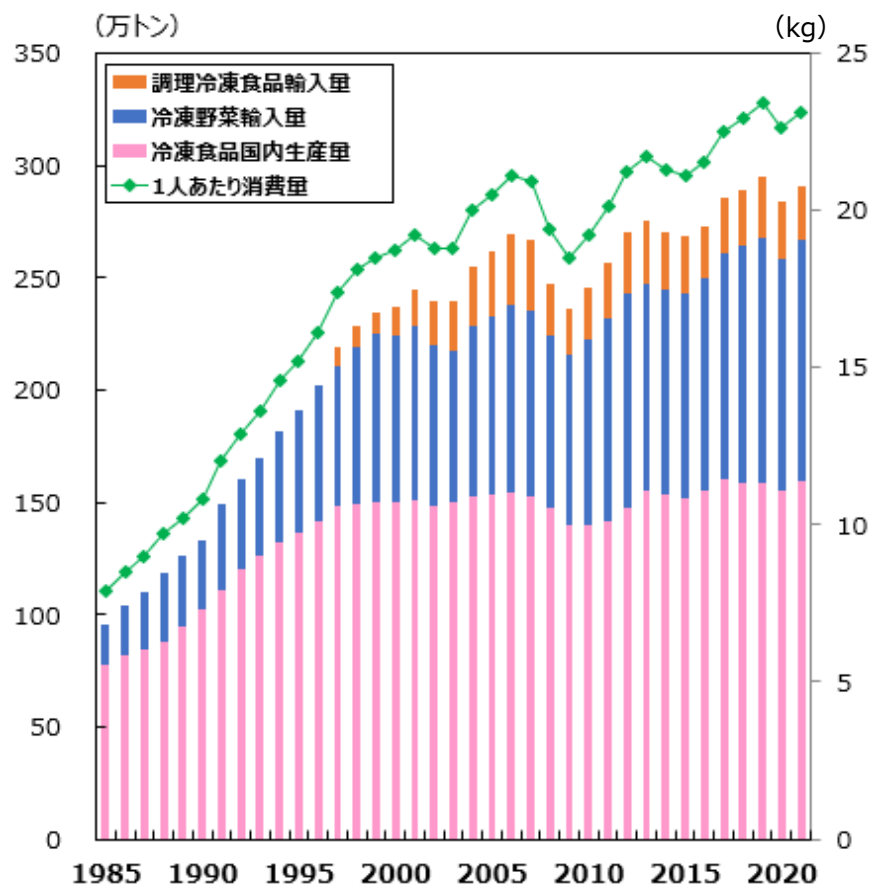
2. 当社を取り巻く外部環境

当社を取り巻く外部環境

◆ 単身世帯や高齢者の増加に伴い、冷凍食品の需要が増加

冷凍食品の国内消費量推移

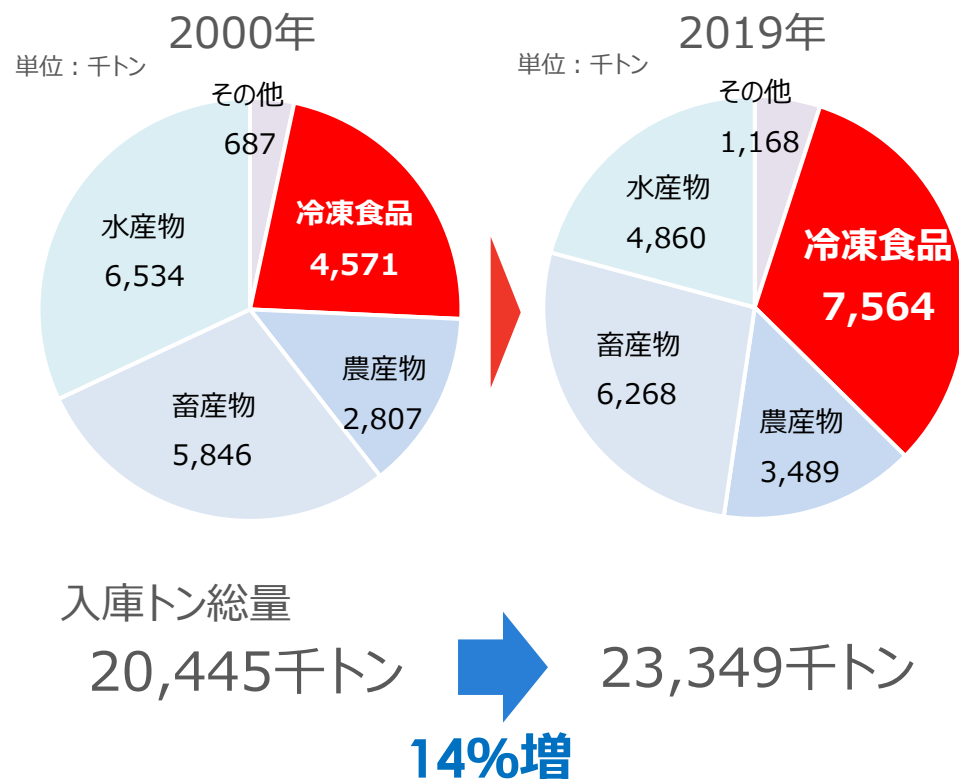
・冷凍食品の消費量は増加基調



※日本冷凍食品協会HP統計データを当社加工

冷蔵倉庫業界の品種別入庫トン比較

- ・入庫トン総量は20年前に比べ約14%増加
- ・冷凍食品の割合は20年前に比べ約1.7倍に

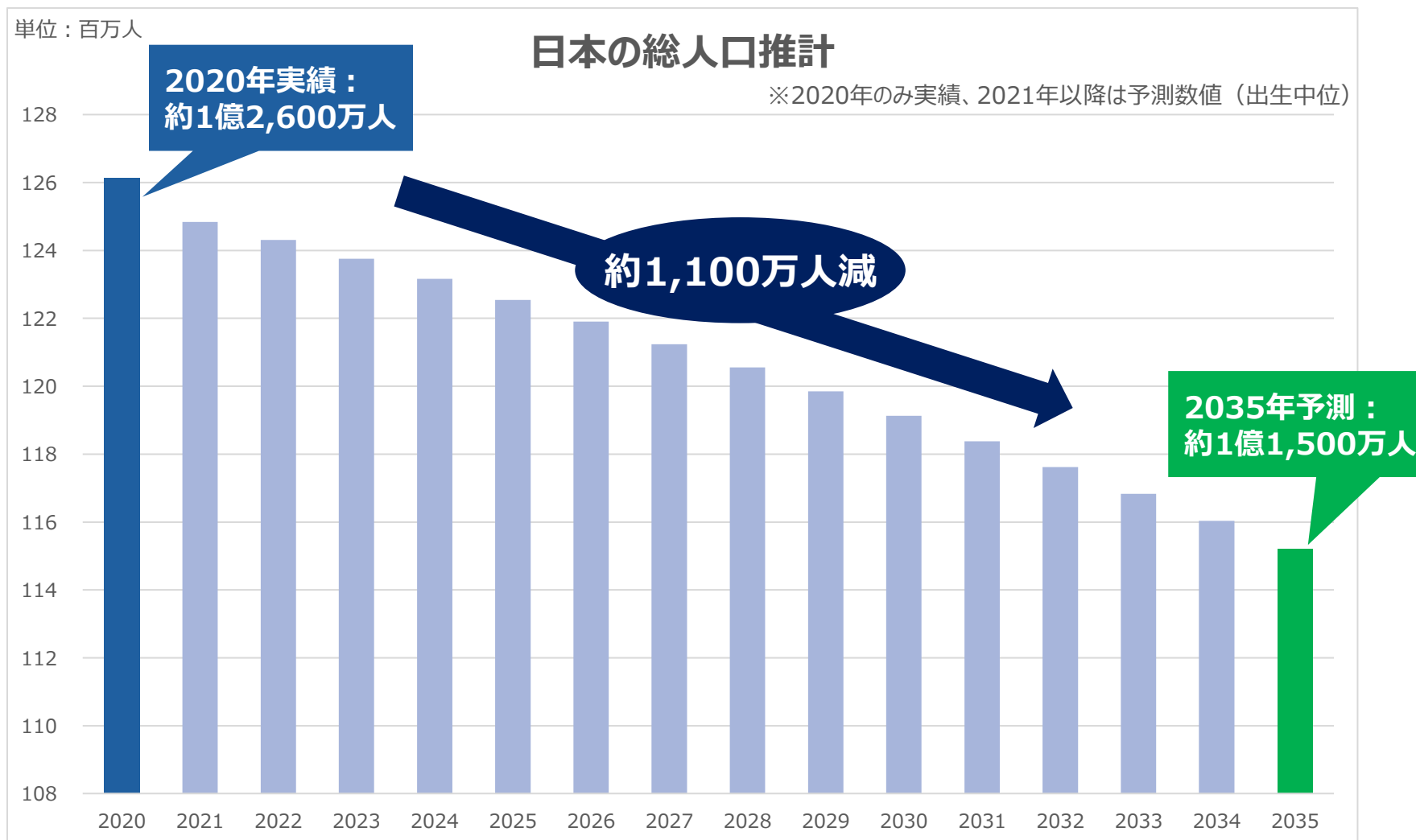


※日本冷蔵倉庫協会会員専用HP
PDF「2020年版冷蔵倉庫の諸統計（国土交通省HP発表『倉庫統計季報』より）」

2. 当社を取り巻く外部環境

当社を取り巻く外部環境

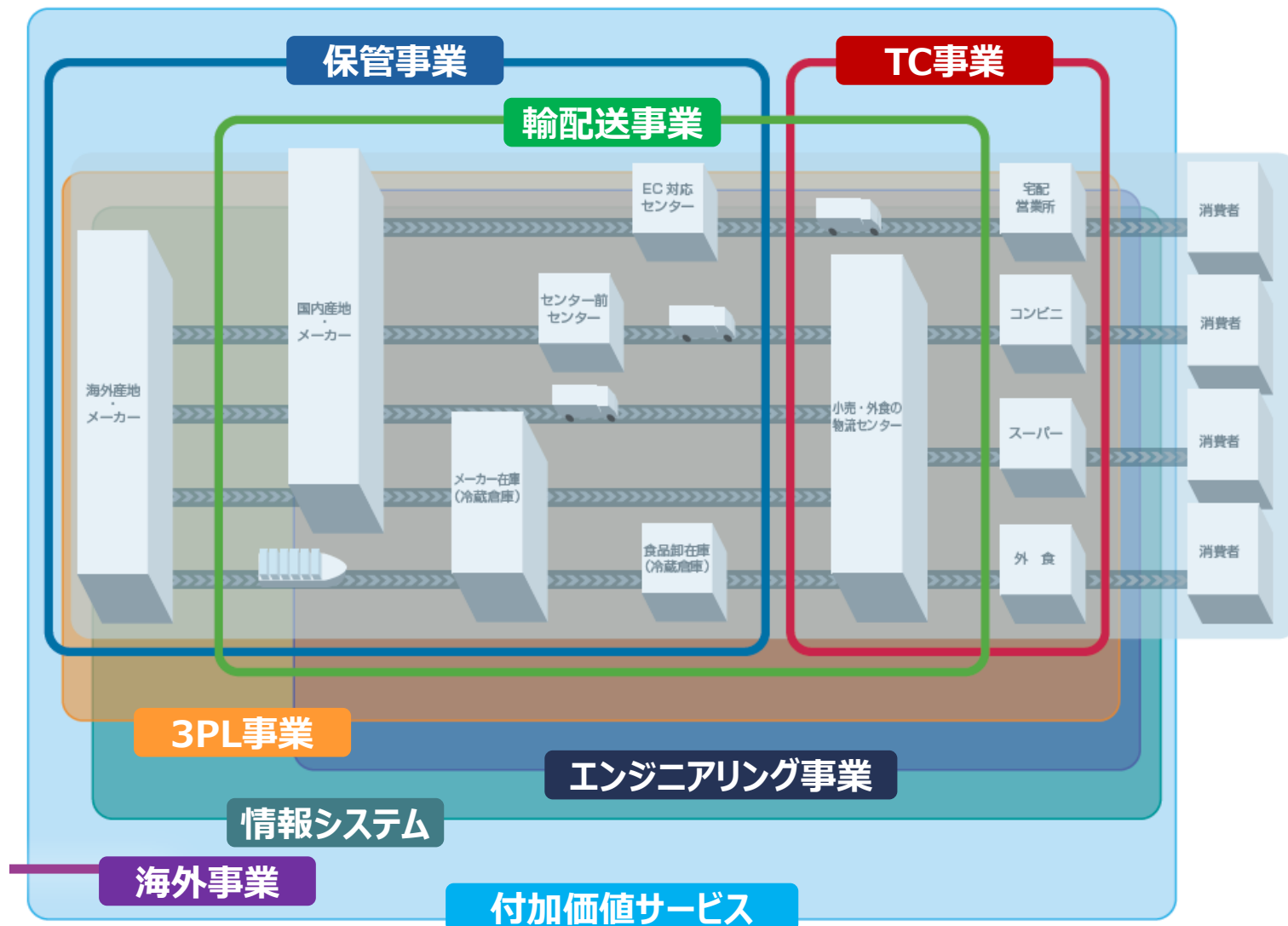
◆ 日本の総人口は、今後15年間で約1,100万人減と予測



3. 当社の取り組み事例

当社の事業領域

◆ コールドチェーンの川上から川下まで幅広く事業を展開



3. 当社の取り組み事例

事例① 付加価値サービス：ノウハウの活用

◆ ニチレイグループがこれまで蓄積してきたノウハウを活用

食品生産管理

PC（精肉）



リパック



品質保証

凍結設備



解凍設備



食品分析技術

分析ラボ（国内）



分析ラボ（オランダ）

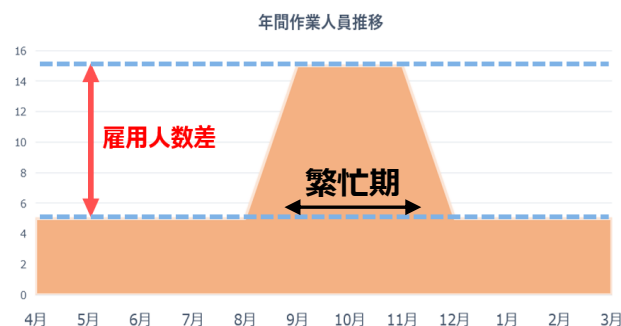


3. 当社の取り組み事例

事例① 付加価値サービス：農業生産地での取り組み

生産者様の抱える課題①

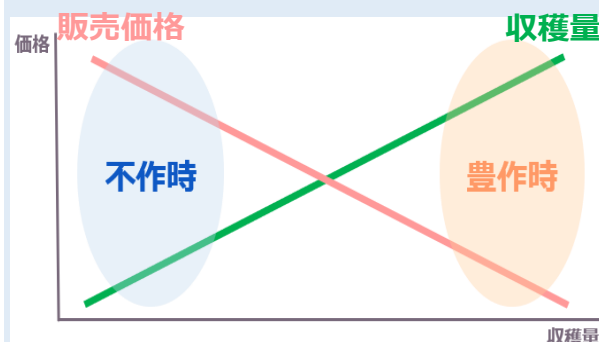
①一年を通じ雇用不安定



時期によって求人数に偏りが発生

生産者様の抱える課題②

②収入が不安定



不作時：価格は上昇するも販売量減少
豊作時：価格が暴落し廃棄増

生産者様の抱える課題③

③フードロスの発生



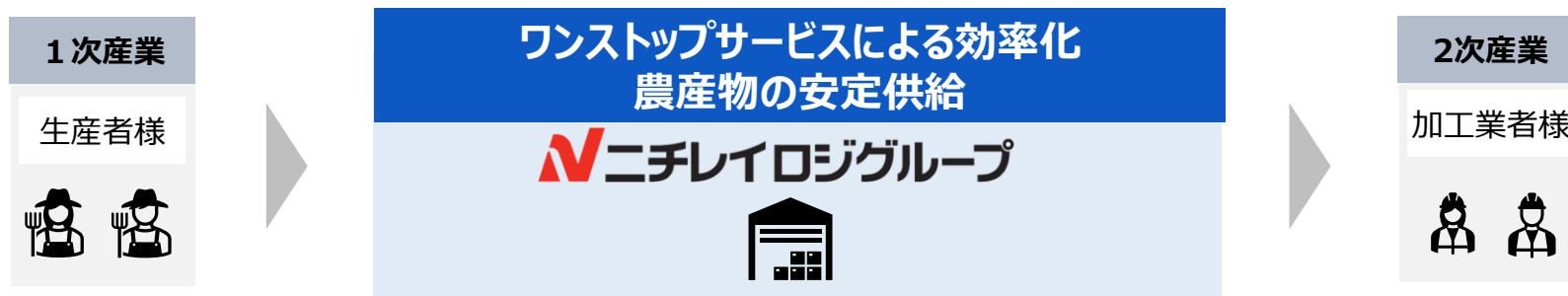
生鮮野菜の多くは冷凍保管に不向き、
加工できなければ廃棄発生

農業生産地での付加価値サービス提供を通じて、社会課題の解決を目指す

3. 当社の取り組み事例

事例① 付加価値サービス：農業生産地での取り組み

◆ 1.5次加工サービス提供を通じて、農産物の安定供給・フードロス削減に貢献



● 甘藷の事例

洗浄 → 皮むき → 蒸かし → 急速凍結 → 箱詰め → 保管



● イチゴの事例

加工 (ヘタ取り) → 洗浄 → 急速凍結 → 箱詰め → 保管



3. 当社の取り組み事例

事例① 付加価値サービス：オランダ・ヒワ社

◆ 顧客ニーズに応じ、果汁原料の多様な付加価値サービスを提供

ロッテルダム港



果汁原料の付加価値サービス

Nニチレイロジグループ



納品先様



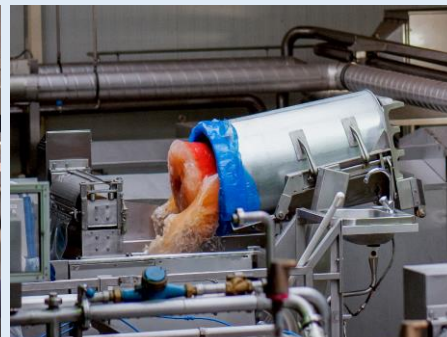
搬入・保管



ラボ分析・レシピ作成支援



デドラミング・加工



充填・出荷



3. 当社の取り組み事例

事例② サード・パーティ・エンジニアリング（3PE）

(株)ニチレイ・ロジスティクスエンジニアリング (NLE) 概要

■従業員数

211名（2022年7月1日現在）

■建設業許可

国土交通大臣許可 特-1 3325号

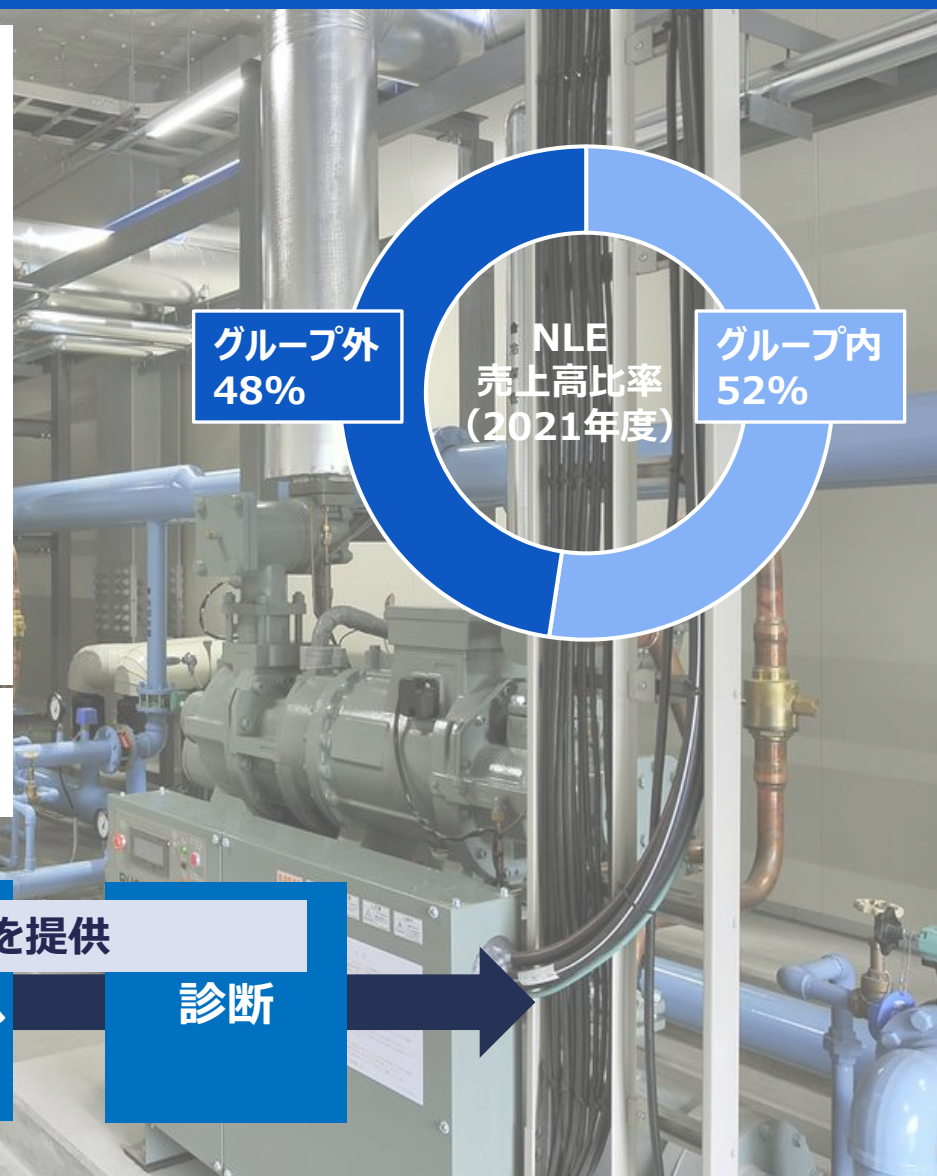
建設工事業、管工事業(冷凍冷蔵設備工事) 等

■有資格者

一級建築士、一級建築工事施工管理技士、
一級管工事施工管理技士、一級電気工事施工管理技士、
第一種冷凍機械責任者 等

NLEの主な機能と特長

- 低温施設に関するエンジニアリング全般をトータルサポート



ワンストップでエンジニアリングサービスを提供

プランニング

設計・施工

メンテナンス

診断

3. 当社の取り組み事例

事例② サード・パーティ・エンジニアリング（3PE）：NLEの価値創造モデル

建設前

①プランニング

DC・TC事業で培った
ノウハウを施設計画に反映、
最適なプランをご提案

②設計・施工

多彩な有資格者が在籍、
顧客ニーズに沿った冷凍設備の
設計・施工を実施

各機能の独自技術を
ワンストップでご提供

建設後

④診断

建物・冷却設備診断を通じ、
施設状況を的確に判断

③メンテナンス

結露対策など、低温施設特有
の課題へ高い専門性を発揮

顧客価値

“低温施設管理の
全体最適”

全国約120拠点のニチレイロジグループ拠点でのノウハウ蓄積



ニチレイロジグループ

データに基づいた意思決定：データドリブン運営



ビッグデータ蓄積



AIによる判断



プラットフォーム（クラウド上で一元管理）



データの抽出



データの利活用

- ・遠隔監視システム
- ・設備まるごと診断
- ・日々の運転レポート
- ・その他各種データ



故障の予兆診断

冷却品質の向上

環境負荷低減

省工不提案

運轉効率化

提供サービスのさらなる高度化

3. 当社の取り組み事例

事例② サード・パーティ・エンジニアリング（3PE）：IoT活用事例

◆ IoTを活用した様々な取り組みを当社物流センター内で実証実験中

デフロスト自動制御システム

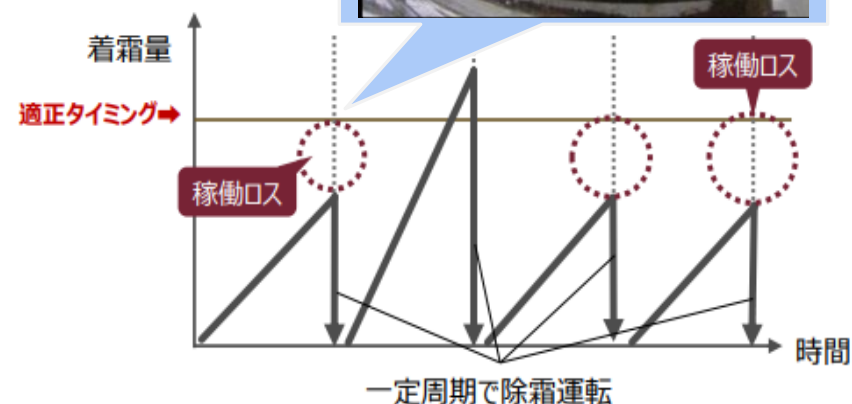
従来制御

- ・着霜量が少ない場合でも、一定時間でデフロスト運転を実施

⇒冷却器が過剰運転し、稼働ロスが発生



着霜量が少ない場合でも
定時でデフロスト稼働



自動制御

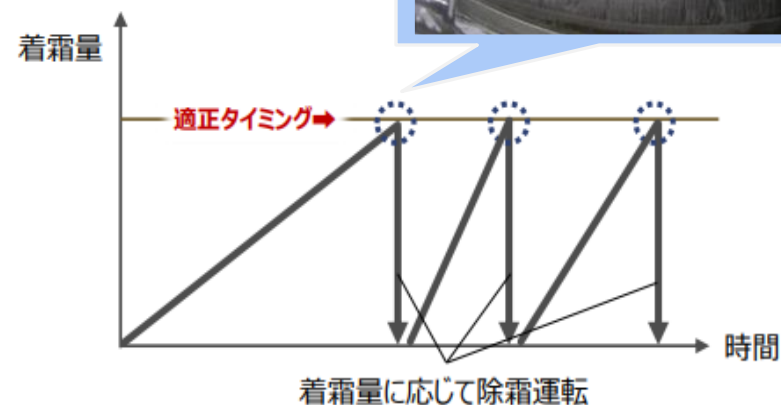
- ・冷却器背面に着霜カメラを設置し、画像読取り
- ・設定輝度に達すると自動でデフロスト運転を実施

⇒Just in timeでメンテナンスが可能

⇒省エネ、運転効率化につながる



着霜量が多いときにのみ
デフロスト稼働

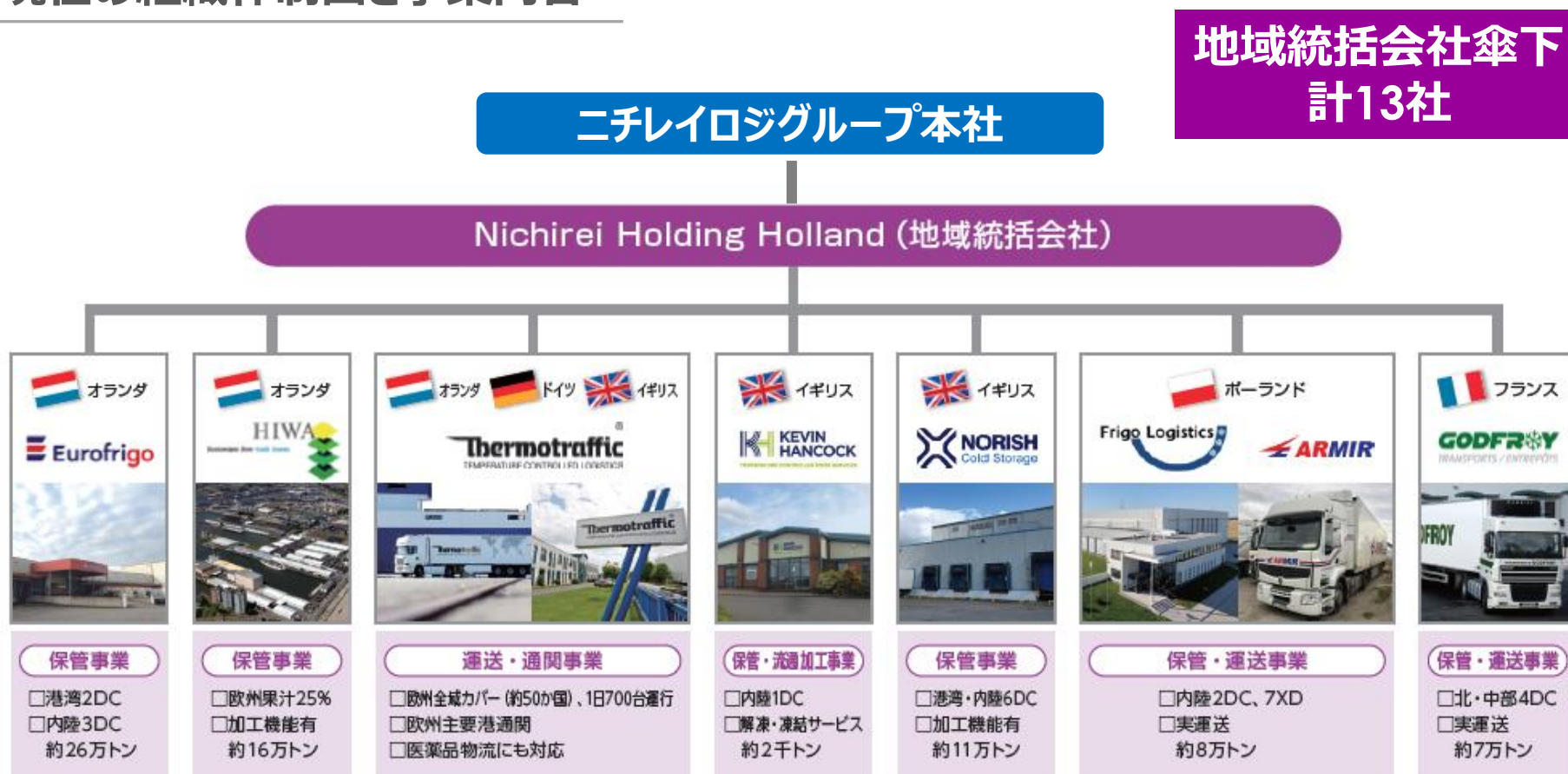


3. 当社の取り組み事例

事例③ 欧州事業

- ◆ 1988年オランダ進出以降、M&Aにより事業を拡大
- ◆ 現地に根付いた事業展開が特長（顧客はほぼ現地企業で構成、経営も100%現地化）

現在の組織体制図と事業内容



3. 当社の取り組み事例

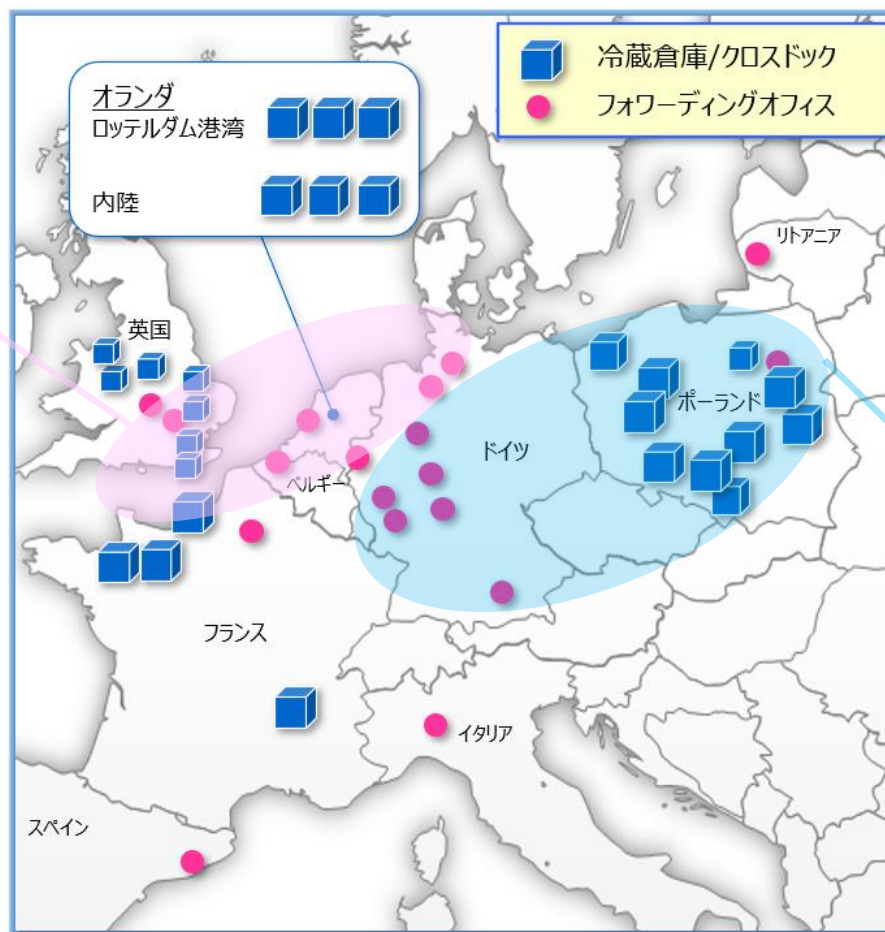
事例③ 欧州事業

- ◆ 9ヶ国、47ヶ所に拠点および営業所を保有
- ◆ 冷蔵倉庫設備能力はトータルで約70万トン

進出状況/拠点一覧

港湾型 ビジネスモデル (川上領域)

オランダ・ロッテルダム
を中心とした港湾＋
輸配送ビジネス



流通型 ビジネスモデル (川下領域)

ドイツ・ポーランドに
おける小売チェーン
向け冷凍物流

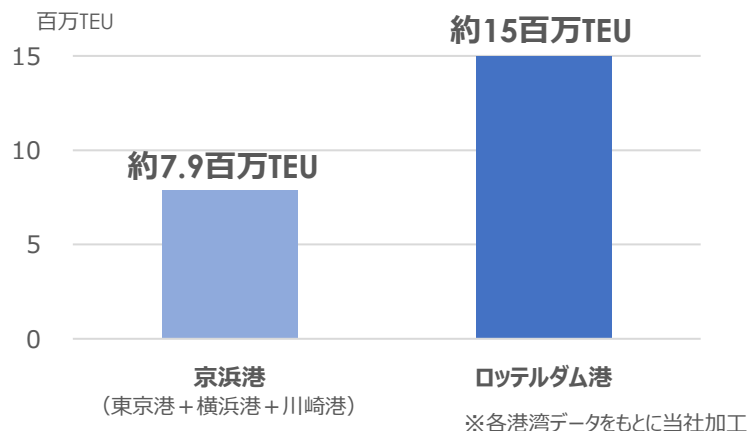
3. 当社の取り組み事例

事例③ 欧州事業：港湾型ビジネスモデル事例

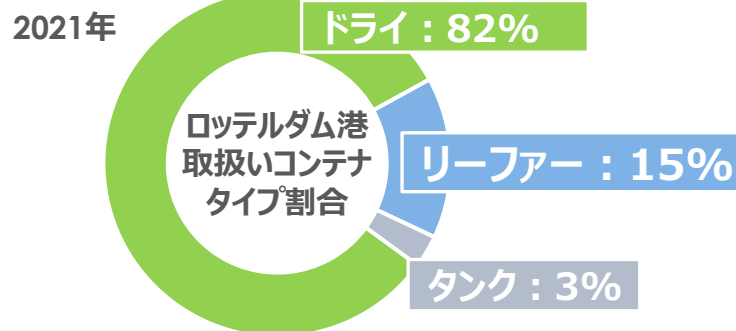
ロッテルダム港概要

- ・欧州最大のコンテナ港、欧州の玄関口

コンテナ取扱個数比較（2021年）



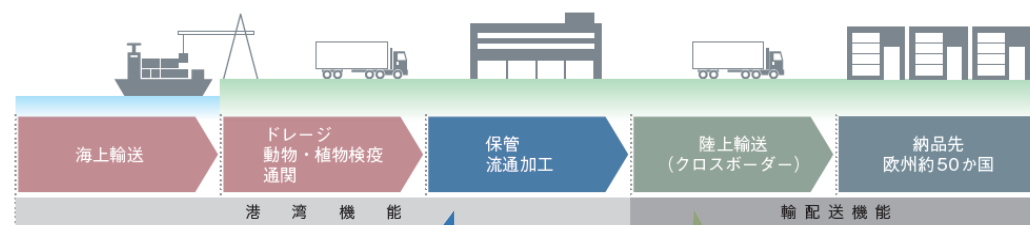
ロッテルダム港取扱いコンテナタイプ構成比



当社の港湾型ビジネスモデル

- ・港湾冷蔵倉庫機能と、通関、陸上/海上輸送機能を組み合わせ、一連の低温物流をボーダレスにカバー

各機能を担う事業会社同士の連携により、ワンストップサービスを提供



港湾倉庫(ユーロフリゴ社)



運送(テルモトラフィック社)



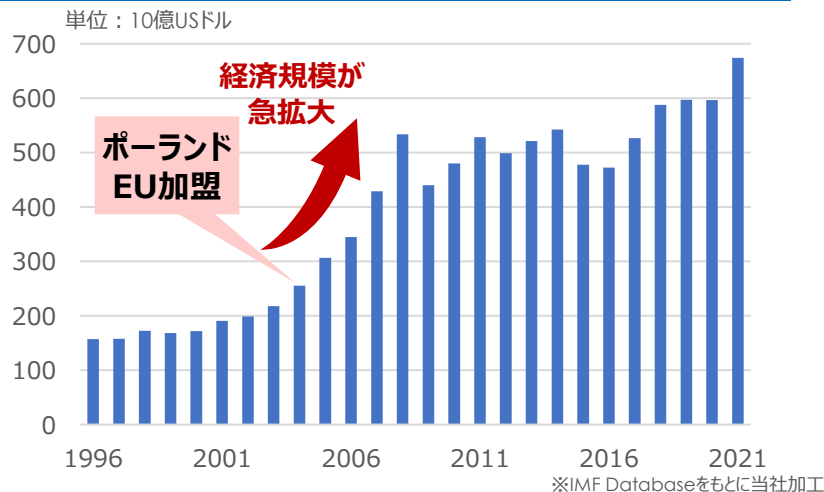
3. 当社の取り組み事例

事例③ 欧州事業：流通型ビジネスモデル事例

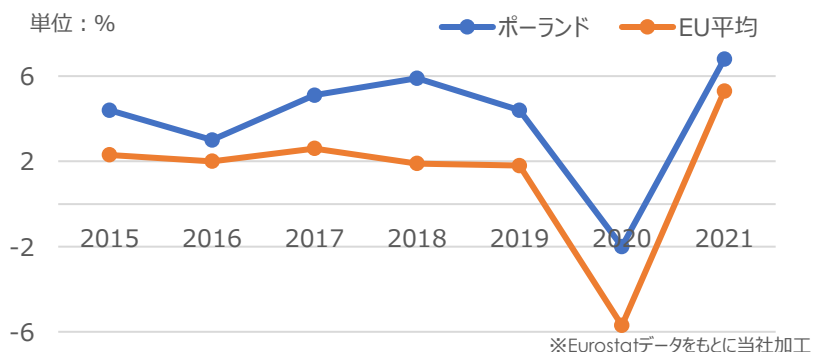
ポーランド進出経緯

- ・2004年、EU加盟年にポーランド進出
- ・欧州の成長市場として今後も期待

ポーランドの名目GDP推移

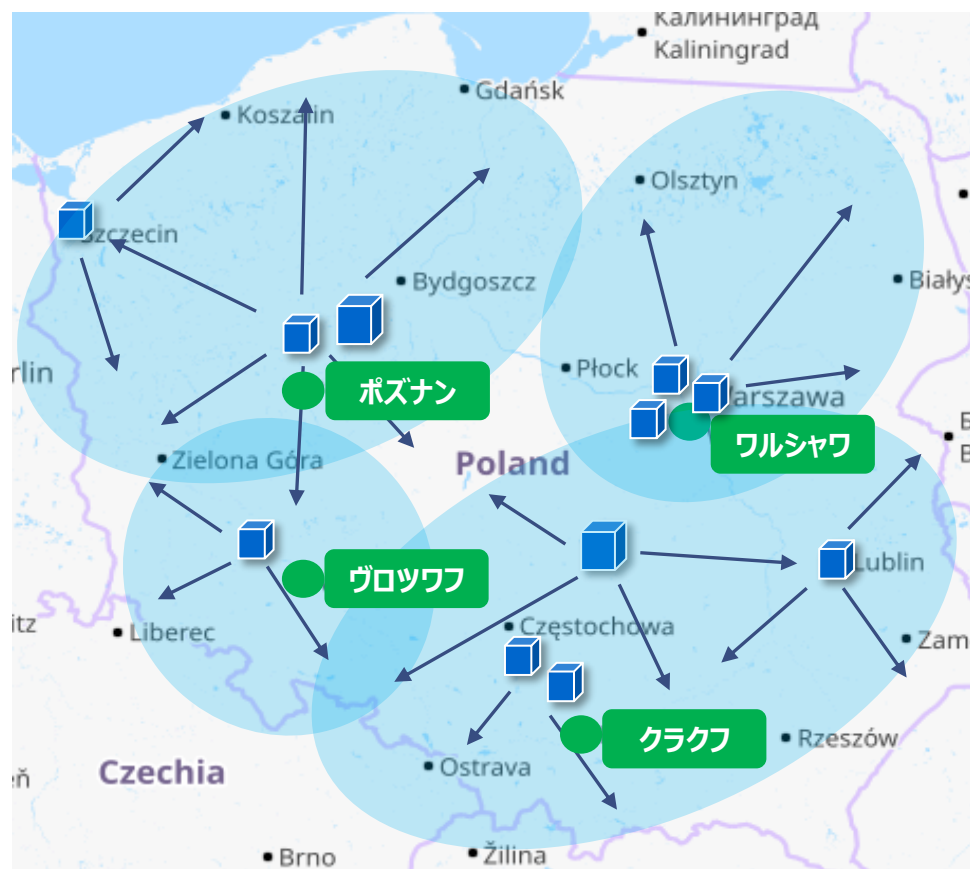


近年の実質GDP成長率比較



ポーランドにおける流通型ビジネス

- ・複数の大手小売チェーンの冷凍物流を受託
- ・国内全域をカバーする運送ネットワークを構築



4. 物流を花形職種へ

低温物流業界のイメージ変革

従来の低温物流業界イメージ

・“3K”のイメージ+低温環境

きつい

汚い



危険

冷たい



当社の課題認識

・マイナスイメージ払拭には、まず従業員のメンタリティ改革が必要と認識、組織変革に着手

業務革新

新人事制度導入
・
ダイバーシティ推進

組織風土の変革

インナー
ブランディング
強化

働き方の
自由度向上

4. 物流を花形職種へ

組織風土の変革：新たな企業理念の設定

◆ 社会や顧客要請の変化に即した形で「ニチレイロジグループがやりたい姿」を再設定

当社企業理念

事業ビジョン

国内No.1の高度な低温物流を
世界のスタンダードへ。

社会や顧客の課題に対し、革新的なノウハウを追求し、
最適なソリューションを提供。

これまで培ってきたお客様の信頼に応えつづけ、
低温物流のパートナーとして、かけがえのない存在になる。

基本姿勢

グループ唯一の**サービス業**として、
当社で働くすべての人の満足度を高め、
あらゆるシーンでお客様の**利用体験価値**を
上げていくことを追求し、生活者に貢献する。

4. 物流を花形職種へ

組織内におけるイノベーションの推進

◆ 新たな価値創出を目指し、多様な働き方の推進や職場環境の整備に注力

業務革新の推進



ダイバーシティの推進



常設スタジオの設置



イメージキャラクターの活用



レイちゃん

ロジロジくん

サードプレイスオフィスの開設



社内SNSの活用

「ミルコ」

見つめあって、わかり合おう。
MIRU心

● 本講演の内容に関するお問い合わせ窓口 ●

〈エンジニアリングサービスに関するお問い合わせ〉

(株)ニチレイ・ロジスティクスエンジニアリング PM事業部

Email : n5200x005@nichirei.co.jp

〈その他全般に関するお問い合わせ〉

(株)ニチレイロジグループ本社 経営企画部

Email : N1040X003@nichirei.co.jp